

研究紀要

— 専修学校教員国内派遣研修事業 —

平成24年度

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

研究紀要第 3 3 号に寄せて

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

理事長 福田 益 和

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団(平成 24 年 4 月に旧・財団法人専修学校教育振興会より移行。)では、専修学校における研究・研修活動を推進・奨励し、ひろく専修学校教育の質的向上、内容充実に資することを目的として、文部科学省から補助を得て教員研究・研修事業を実施しております。

毎年、各分野から応募が寄せられておりますが、研究研修事業中央委員会での審査の結果、今年度は 2 件の派遣研修を事業の対象とし、その成果を研究紀要第 3 3 号としてここに刊行する運びとなりました。

これらの研究成果は、各学校の教育内容の充実にとってはもちろん、社会的、学術的にも重要であり、ひろく専修学校教育に従事しておられる教員の方々の参考になるものと考えております。

専修学校は従来の教育実績をふまえ、社会人に対しても高度な職業教育を提供できる機関として、その役割が大変期待されており、今後とも、教育内容を一層充実させ、その振興を図る必要があります。

これからも優れた研究の成果が本財団に寄せられ、専修学校教育の質が充実、向上し、発展していくことを期待しております。

平成 2 5 年 3 月

目 次

・専修学校教員国内派遣研修事業

花飾りをつくり、コーディネートにいかす

学校法人文化学園 文化服装学院

黒沢 友美..... 5

医療用カラーフィルターレンズ装用効果の客観的評価

新潟大学眼科 新潟医療技術専門学校

石井 雅子..... 33

専修学校教員国内派遣研修事業

花飾りをつくり、コーディネートにいかす

黒沢 友美

学校法人文化学園 文化服装学院

●はじめに	6
●アートフラワーとは	6～7
●用具、用語解説	8～10
●用語解説	11
●材料解説	12～14
●染色方法	15
●保管方法	15
●製作行程大輪のつくり	16～18
●ブーケ	19～23
●部分説明	24～25
●コサージュと体型カバー	26～27
●コサージュのつけ位置	28～30
●ブライダルシーンのアートフラワー	30
●研修を終えて	31
●参考文献	31

●はじめに

アトリエ染花との出会いが私の花づくりに繋がっている。

それまでは、造花というとポリエステルやビニール製の安価で派手なイメージのものであった。アトリエ染花とは以前の仕事を通し出会った。パリコレクションでのコーディネートアイテムの製作や、商品展開を通しアトリエ染花の作品に触れてきた。その経験によりアクセサリーとは、洋服を引き立たせる為の一部ではなく、ブランド全体の世界観を作り上げることに必要不可欠なものであるということに気づいた。その演出効果は、時には洋服のそれ以上に影響力がある。

私は文化服装学院の流通過程で助手を勤めているが、勤務当初から自分の専門分野としてコーディネート理論の知識を深めることで、ショップ（売り場）に直結したコーディネート提案が出来る人材を育成したいと考えてきた。その為に、自分の経験値を高めるため3年前から店舗研修を重ねている（株式会社アングローバル/マーガレットハウエル自由が丘店、株式会社三越伊勢丹/伊勢丹新宿4階リ・スタイル等）。

店頭では、アクセサリーの需要や商品展開が多いこと。アクセサリー（コサージュ）の正しいつけ方をスタッフが知らないこと。ブランドの歴史や商品知識が少なくても、コーディネート方法をアドバイスしてさしあげるだけでお客様に満足して頂けることなどを実感した。

コーディネートとは、2つ以上のアイテムを統合・調整・調和すること。衣服やアクセサリーをバランスよく組み合わせることをいう。私は花飾りをつくるだけでなく、コーディネートにいかしたいと思い国内派遣研修を希望した。昨年からは初級クラスで基礎を学び、今年度は中級クラスを受講した。アトリエ染花での学びは確実に自身の力となり、日々の学生指導にいかされている。

●アートフラワーとは

布でつくられた衣服、帽子、髪などを飾るための造花のことで、正式名称はアーティシシャルフラワーという。他にシルクフラワーと呼ばれるものもあるが、最近では造花全般をアートフラワーと呼ぶことが多い。アートフラワーには自然界に咲く花やつぼみを同じように表現するものと、イメージで創るものがある。白い布から染色を施し、こて当てをし、花卉の表情や、花芯の細部まで生花と変わらない花の表情をつくり出すことができる。造花用の布以外でも、市販の布を用いて作ることができる。アートフラワーは、多様な布地と無限の配色から作り手の世界観を自由に展開することができるのが魅力である。

アートフラワーはコサージュや、ヘアアクセサリーなど、特にブライダルには欠かせないアクセサリーの一部である。香りもなく花粉がでないので、病院のお見舞いとしても選ばれることが多くなっている。またインテリアとしても、リースやウィンドーディスプレイ、ギフトラッピングなど、生活の中で幅広く作られ、私たちの生活に潤いと安らぎを与えている。

ファッションコレクションのスタイリングにアートフラワーは多く用いられている。洋服と共布

を使用し統一感のあるコーディネート提案（写真①）。花だけでなく、葉や茎をデザインしたヘッドアクセサリー（写真②）。アートフラワーはコーディネートには欠かすことができないアイテムである。



①©AFP/PHOT RIERRE VERDY

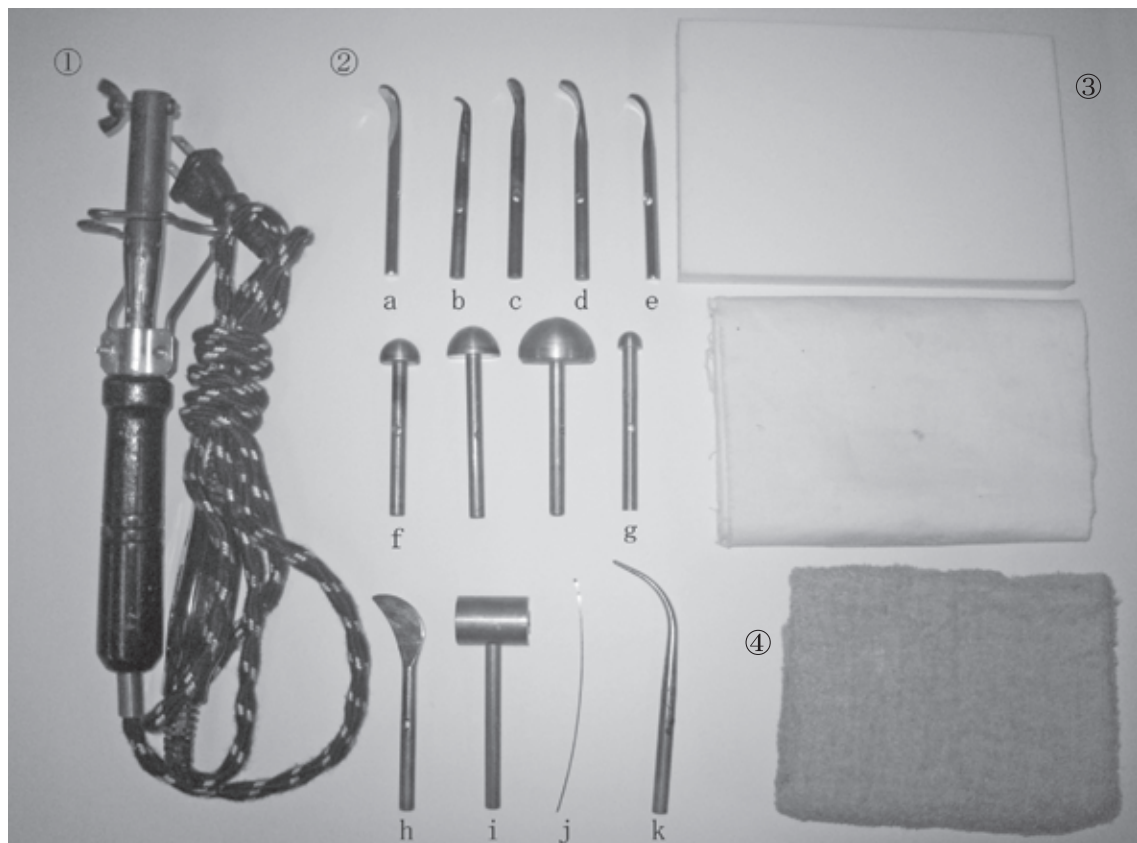


②©AFP/PHOT JOEL SAGET



③©AFP/PHOT FRANCOIS GUILLOT

●用具、用語解説



1. こて当ての用具

①こての柄/電気こての先にこて先をさして使用する。

②こて先/花の表情に応じたこて先を使用する。

a 弁こて/溝の無いつるつとしたこてで花卉に多く使用する。

b 細一筋こて/弁こてに1本細い筋がついているこてで、花卉にふくらみをつけながら筋を入れる。

c 一筋こて/弁こてに1本筋がついているこてで、花卉や葉の葉脈を入れるときに使用する。花卉にふくらみをつけながら筋を入れる。

d 二筋こて/弁こてに2本の筋がついているこてで、たくさんの筋をもつ花卉に使用する。

e 三筋こて/弁こてに3本の筋がついているこてで、2筋こてより細かい筋をつける。

f 丸こて/3分、5分、7分、8分、1寸の丸こてがある。花卉の大きさにより使い分ける。

g すずらんこて/すずらんの花卉をこて当てするとき使用する。小さい丸みをつけたい場合に適している。

h 筋こて/強くてはっきりとした筋を入れたいときに使用する。主に葉脈を入れるときに使用する。

i 斜茎こて/バイアスにカットした茎布を筒状に巻き込むときに使用する。斜茎台にこての柄を固定し使用する。

j 斜茎針/布を斜茎ごとに通すときに使用する。

k へり返しごと/バラの花弁などのへりを返すときに使用する。

③こて台/スポンジに薄手の木綿の布を巻き使用する。スポンジには柔らかなものと固いものがあり、用途に合わせ使い分けると良い。

④タオル/こて当てのときに布を湿らせ、こて先の温度調節やこて先、指先の汚れを拭き取る。花弁のへりを返すときに使用する。



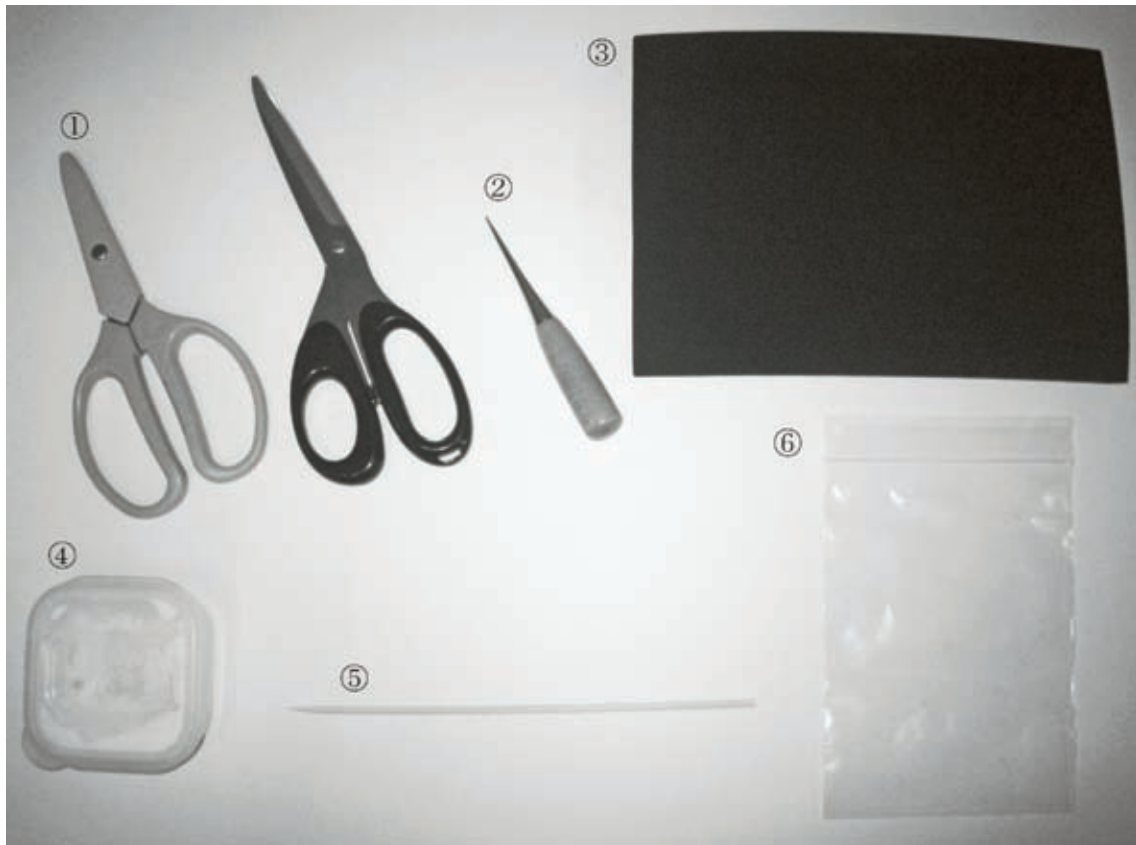
2. 染色の用具

①花用染料/粉末染料は、使用する分を少量の熱湯でよく溶かしてから水を足し好みの濃度にする。必ず使用する直前に作る。

②ボール/染料を作る時に使用する。染料の色がわかり易いように白い容器を使うと良い。使い捨てのプラスチックのカップでも良い。

③ピンセット/染色した布をはさむ。

④はけ/着色する際に使用する。用途に応じて筆の種類を変えて使用する。



3. 製作用具

- ①はさみ/布を裁断するもの、ワイヤを切るものと分けて使う。
- ②目打ち/花卉やがくに穴をあけたり、ワイヤに表情をつけるときに使用する。
- ③打ち台/目打ちを使用するときに、机を傷つけないようにするための台。
- ④ボンド/速乾性の接着剤。造花用、木工用のボンドを使用する。ワイヤを貼ったり、花卉や葉の貼り合わせに使用する。
- ⑤竹串/ボンドをつけるときに使用する。
- ⑥ビニール袋/ボンドをつけ、こて当てまで乾かないように入れておくときに使用する。

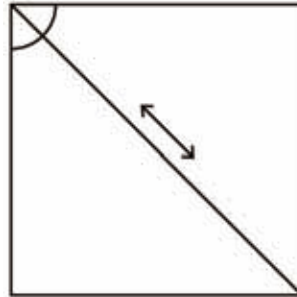
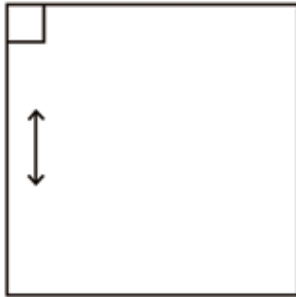
●用語解説

「布目」

地の目ともいう。布地の経（たて）糸、緯（よこ）糸の織り目のことをいう。

「バイアス」

布目に対して斜め方向に裁断する。衣服は一般的に、経（たて）地・緯（よこ）地を基準とし裁断をするが、経緯に対して45度の角度の布目で裁断することをいう。



「花芯」

花の中心のことをいう。ペップや、布で花芯を作ることが多い。

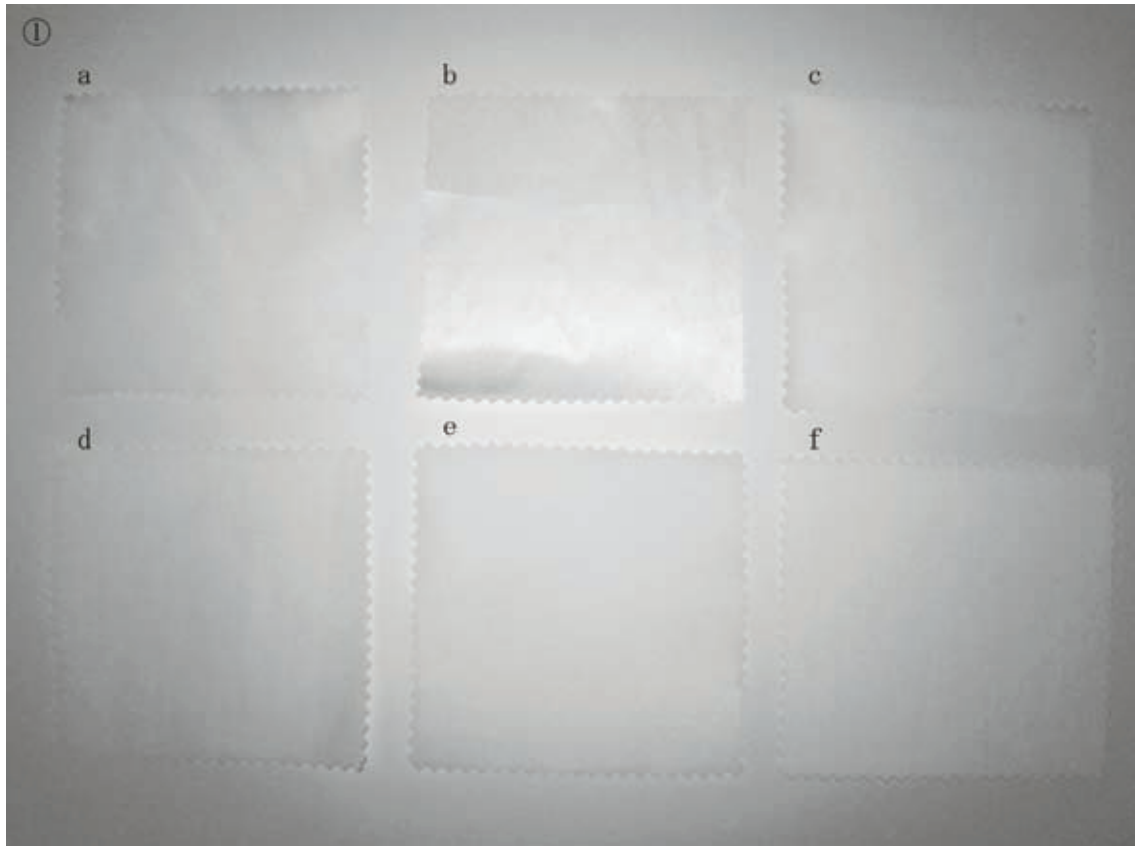
「裏打ち」

同じ形の布を貼り合わせることをいう。この場合、裏側の布はバイアスで貼り合わせる。裏打ちをすることで裏側も綺麗に仕上がり、布地が厚くなるので丈夫になる。

「リーフ型押し」

葉の葉脈が入った鉄製の型のことをいう。

●材料解説



①地/糊入れしてある造花用の布地を使用する。

※この花にはこの布といった決まりはないが、用途によって布を変えることにより同じ花でも印象が全く異なる。

(1)フォーマルな花を製作するときに使用する布

a 羽二重

b サテン/表に光沢、つやがある。やや厚地で花卉、葉に使用する。表裏どちらを表出しにしてもよく、布地の表情を楽しむことができる。

c オーガンジー/薄地で張りがある。透明感がある薄地の布。花卉の重なりに加えると支えの割をする。

他には新サテン、デシン、ジョーゼット等がある。

(2)カジュアルな花を製作するときに使用する布

d 木綿/中糊木綿、固糊木綿がある。光沢がなく、素朴な花や葉に使用する。

e ポプリン/中糊ポプリン、固糊ポプリンがある。光沢と張りが適度にあり主に花卉に使用する。

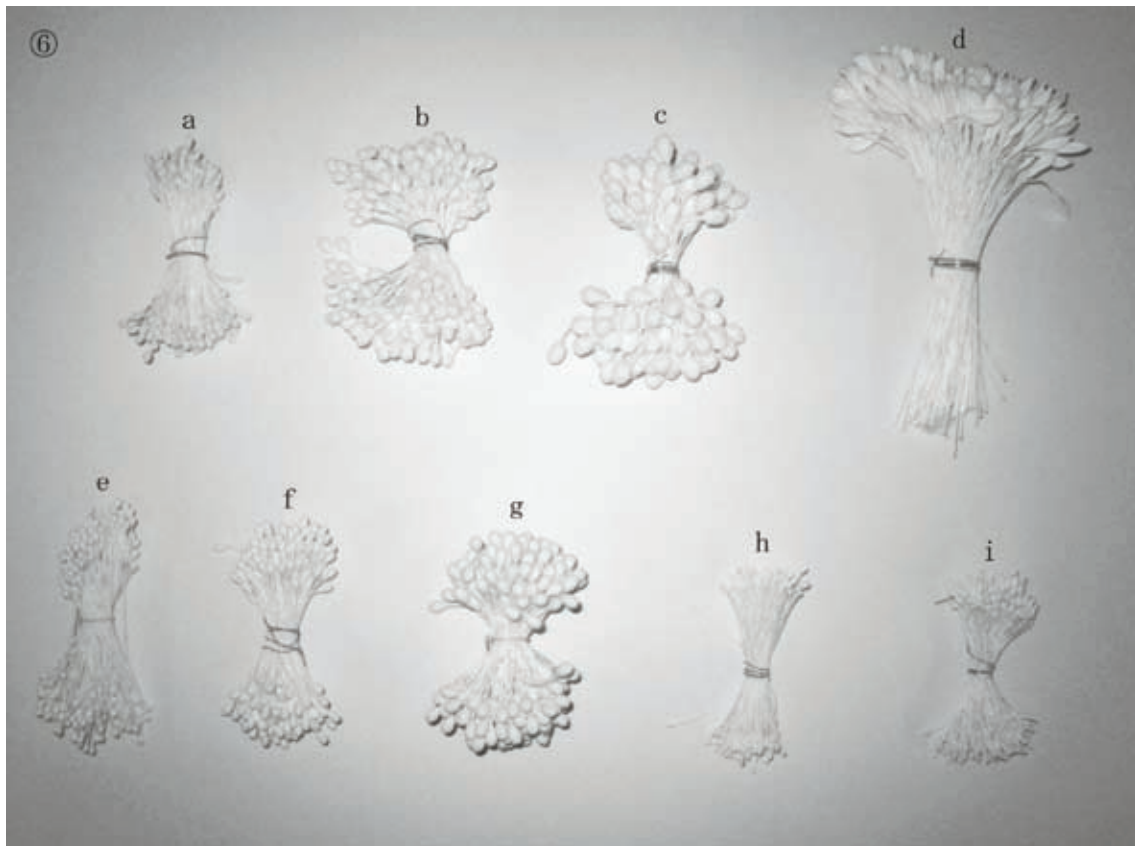
f ビロード/表に毛足がある厚みのある布。花芯用に巻いて使用する場合もある。

他にはシール、新サテン等がある。



- ②ワイヤ/紙巻きした地巻きワイヤを使用する。主に 20 番から 30 番を使用する。偶数番号のものが一般的であるが、まれに異なる番号がある。数が大きいほど細い。主に細いものは花卉や葉の裏に貼り支えとする。太いものは茎や枝、つるとして使用する。
- ③ビニールチューブ/直径 3～5mm くらいのビニール管で、茎のワイヤを通して使用したり、その上から茎布を巻いて使用する。
- ④綿/つばみやがくのふくらみを出す芯として使用する。
- ⑤スチロール玉/花芯として使用する。

⑥ペップ/花芯として使用するもので、小麦粉などが原料でできている。



- a ミモザペップ (小)
- b ミモザペップ (中)
- c ミモザペップ (大)
- d ユリペップ (大)
- e 素玉ペップ 1号
- f 素玉ペップ 2号
- g 素玉ペップ 4号
- h 糸つぶし
- i トンガリ素玉ペップ

※紹介した以外にも様々な素材がある。布地には中糊、固糊など糊の固さにも種類があり、作品の雰囲気や好みにより使い分けると良い。服飾用の布地も糊入れができる。ボンドをお湯で溶かし、布を浸す。お湯の量を調整すると好みの固さに仕上げる事ができる。

●染色方法

- ・造花用染料を使用する。
- ・基本の9色を混色して使用する。混色をすることで色に深みが出る。
- ・糊入れ加工が施されていると色が浸透しにくいので中性洗剤を浸透液として使用する。
- ・布全体を浸透液に浸してから着色をすると染まりが良い。また綺麗にぼかしが入る。べた染をする場合は浸透液には通さない。

ぼかし染めと、染料に直接浸すべた染めの方法がある。染料は粉末なので、熱湯でよく溶かしてから水を足し濃度を調節する。残布などで試し染めをして色の確認をする。布地により染まり方が異なるので注意をする。

●保管方法

- ・こて当てが潰れてしまわないように作品に合った大きさの箱に入れておく。
- ・湿度の低いところで保管をする。防湿剤を入れておくと良い。
- ・色あせの原因になるため、直射日光や強い照明は避ける。
- ・使用した後は形を整えてから箱にしまう。多少形が崩れてもワイヤが入っているので、表情を変えて楽しむ事ができる。

●製作行程大輪のつくり

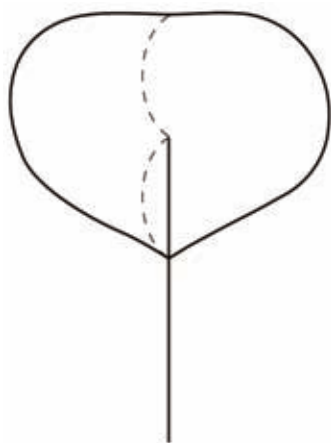
「バラ」



'50 オートクチュール ディオールバラ

'50 オートクチュール バレンシアガのバラ

- ①厚紙に型をうつし切る。
- ②布地を裁断する。布目の方向を確認して裁断する。
- ③染色をする。染色方法は製作するものにより異なる。
- ④貼り合わせ
 - (1)花卉小は2枚を合わせ、少量のボンドで下から約1cm貼り合わせる。
 - (2)花卉中・大は2枚を合わせ、貼り合わせる。中心を留め、左右を貼り合わせる。柔らかいボンドを使うと良い。ボンドのつけ過ぎはしみになるので注意する。
 - (3)花卉特大は花卉の中心に28番ワイヤを1/3に切り入れ貼り合わせる(図a)。

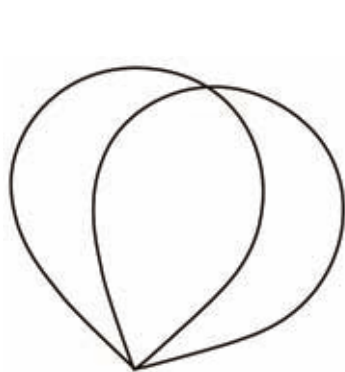


(図 a)

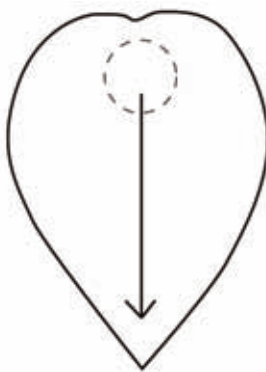
※こて当てをする際に貼り合わせのボンドが乾いてしまうとこて当てが難しいので、ビニール袋に入れて乾燥を防ぐと良い。

⑤花弁のこて当て

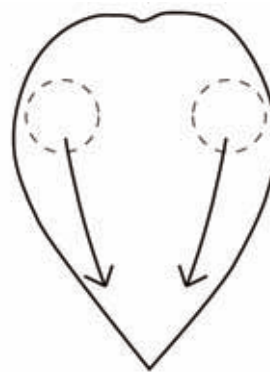
- (1)つぼみは2枚を重ねてずらしをする(図b)。一寸丸ごてを中心にして、花弁の先の部分は3カ所へり返しごてを当てる。
- (2)花弁小は表側から二筋ごてを花弁の上から下へ力を抜くように当てる(図c)。裏側から表側のこて当てを消さないように両側にこて当てをする(図d)。



(図 b)

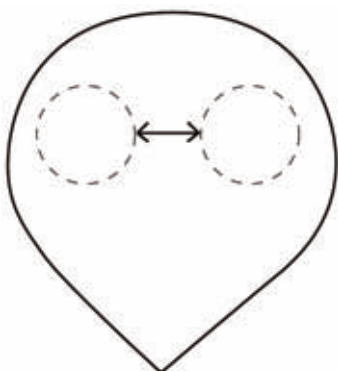


(図 c)

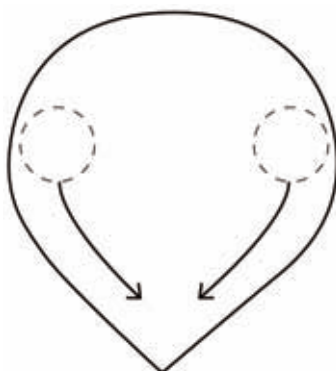


(図 d)

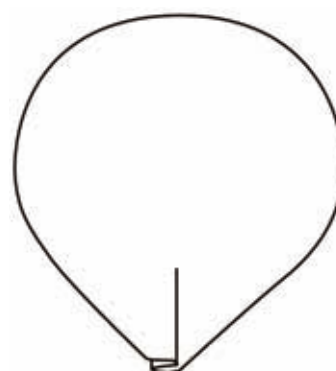
- (3)花弁中・大・特大は一寸丸ごてを中心より上から左右に滑らせるように当て、花弁の両側をカタカナのハの字を書くように撫でるようにこてをおろして当てる。下の部分はしわになっても良い(図e・f・g)。



(図 e)



(図 f)



(図 g)

- (4)花弁中・大・特大のへり返しは指先を水で湿らせ、内側、外側にバランスよく入れる。組んでも調整ができるので様子をみながら進める。
- (5)つぼみは花弁の先を3カ所へり返して、中心に一寸丸ごてを当てる。2枚を1組みにして花弁の上を揃えてずらしをする。

⑥葉のこて当て

- (1)26番ワイヤを1/3に切りボンドでつける。布地の表裏は好みで決める。ワイヤがついている方にボンドを全面につけて裏打ちをする。貼り合わせをしてはみ出した布をはさみで切る。一筋ごてを表側から当て葉脈の筋をつける。
- ※リーフ型を使用しても良い。

⑦枝

- (1)こて当てをした葉の根元に、1cm 幅に切った茎布をボンドで留めて茎巻きをする。
- (2)1cm ほど巻いたところで2枚目、3枚目の葉をバランスよく入れる。ボンドを入れながら1本の枝に仕上げる。
- (3)枝のワイヤが多く重なっているところに、26番ワイヤ1/2に切りを3本入れる。枝を揺らして枝先が振らない程度に仕上げる。

⑧つぼみ

- (1)スチロール玉に26番ワイヤ2本、28番ワイヤを3本通しワイヤをねじり、スチロール玉を固定する。
- (2)スチロール玉全体にボンドをつけて1組で包む。
- (3)へり返した部分にボンドをつけて巻き込み、2組目でスチロール玉が隠れるように高さを合わせて包む。6枚と10枚で組む。
- (4)5mm くらいに切った茎布をボンドで留めて茎巻きをする。
- (5)薄く裂いた綿を根元に巻き、綿を隠すように手もみをしたガクをボンドで固定する。
- (6)綿の部分をワイヤで閉めて跡をつける。

⑨花卉の組み

- (1)花卉小→中→大→特大と花卉を組んでいく。こて当てが消えてしまわないように注意する。
- (2)花卉中は花卉小より上にくるように3枚で囲むとバランスが良い。
- (3)花卉大も同じように3枚で組み、残りの1枚を入れる。アンバランスな方が良い。
- (4)花卉大と花卉特大は下に合わせ、ボンドは少なめで留める。
- (5)5mm くらいに切った茎布をボンドで留めて茎巻きをする。
- (6)手もみをしたガクを花の根元につける。ボンドは固めのボンドを使うと接着が良い。花卉特大はワイヤが入っているので、動きをつけて花を組むと良い。

●ブーケ



ミニロココブーケ



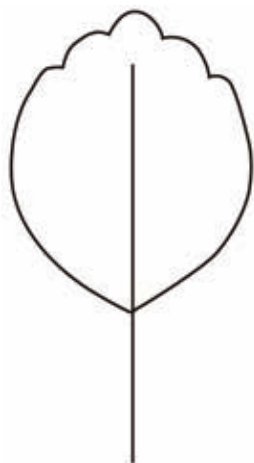
退廃的な花飾り

ヴィクトリア感覚のブーケ

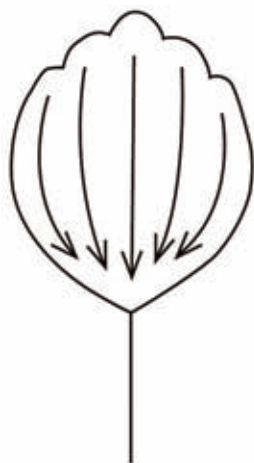
裁断まではバラの製作行程と同様に行う。

①チューリップ

- (1)染色をした 30 番ワイヤを 1/3 に切り、花卉の先から 3mm くらい下がった位置にボンドで貼る。
ボンドが乾いたら裏側用の花卉を貼り合わせる。こて当ての作業をするまで、ビニール袋に入れて乾燥を防ぐ。
- (2)裏側から二筋ごてを当てる。花卉の中心に筋を入れて、その両側に筋を入れる。はじめは力を入れて、徐々に抜くようにしてこて当てをする。根元に丸みをつけるようにこて当てをする (図 h) (図 i)。
- (3)花芯のペップは 0.3~0.5mm くらい差をつける (図 j)。
- (4)花卉小の根元にボンドをつけ 3 枚で囲む。花卉大は花卉小に重ならないよう 3 枚で囲む。
- (5)枝にする際、28 番ワイヤを 2 本添えて茎巻きをする。



(図 h)



(図 i)



(図 j)

②パンジー

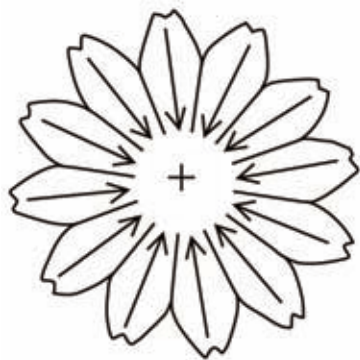
- (1)表側から細一筋ごてで花卉の縁ぎりぎりになぞるようにこて当てをし、中心を押さえる (図 k)。
- (2)ペップに 28 番ワイヤを添えて茎巻きをする。ある程度の長さで切る。
- (3)花卉の中心に花芯のペップが入る大きさに十字の切り込みを入れる。
- (4)花卉の中心にボンドをつけ 2 枚花卉と 3 枚花卉を花芯に通し中心を摘んで固定させる。2 枚花卉と 3 枚花卉の重ねはどちらが上になっても良い。



(図 k)

③マーガレット

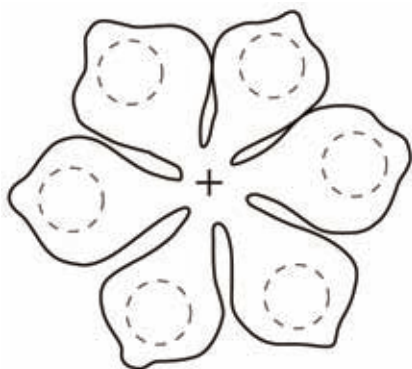
- (1)裏側から細一筋ごてで花卉の先から中心に向かいこて当てをする。徐々に力を抜くようにする。表側からも何枚かこて当てをする (図 1)。
- (2)花卉の中心に花芯のペップが入る大きさに十字の切り込みを入れる。



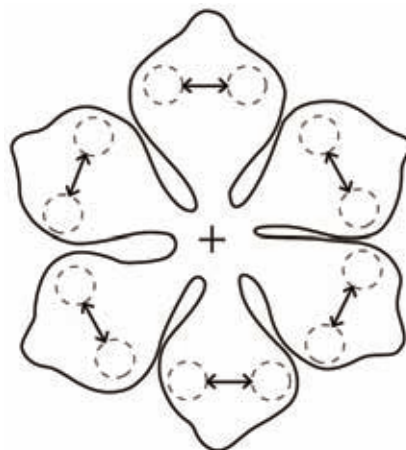
(図 1)

④アネモネ

- (1)花弁小、中、大はそれぞれ8枚重ねの中心にボンドをつけ固定する。
- (2)花弁小、中は表側から五分丸ごてで花弁のこて当てをする (図 m)。
- (3)花弁大は表側から五分丸ごてで花弁の中心から左右にこてを当てる (図 n)。
- (4)花弁の中心に花芯のペップが入る大きさに十字の切り込みを入れる。
- (5)花の付け根から茎巻きをする。



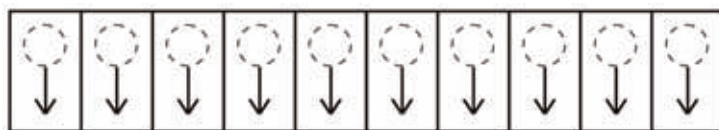
(図 m)



(図 n)

⑤ミニバラ つぼみ

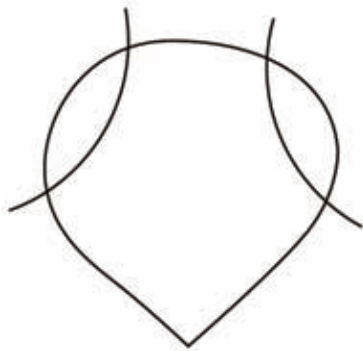
- (1)2枚を貼り合わせ、表側から三分丸ごてで花弁の先から根元部分に向かいこてを当てる (図 o)。
- (2)28 番ワイヤ 1 本を二つ折りにして、わの部分 1cm くらい曲げる。ワイヤを切り込みに引っ掛け、根元部分 (切り込みが入っていない方) にボンドをつけ上を揃えて巻く。
- (3)花の付け根から茎巻きをする。



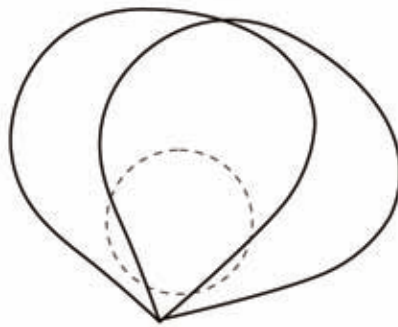
(図 o)

⑥ミニバラ 花

- (1)花弁小、中、大の縁を手でへり返す。ハの字になるようにすると良い (図 p)。
- (2)花弁はすべて2枚一組でずらしをしてボンドで留める (図 q)。
- (3)五分丸ごてを花弁の根元に当てる。
- (4)つぼみを作り、花弁小3枚で囲み、花弁中3枚、花弁大3枚で囲む。
- (5)花の付け根から茎巻きをする。
- (6)ガクは手びねりする。根元にボンドをつけ先端にはボンドをつけない。花弁の根元を隠すようにガクをつける。
- (7)ガクの付け根から茎巻きをする。



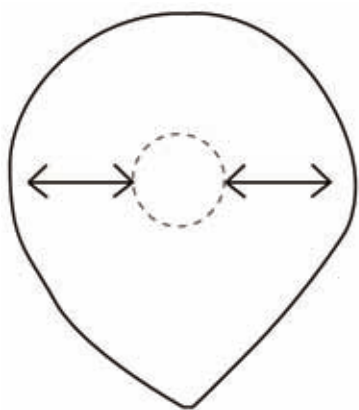
(図 p)



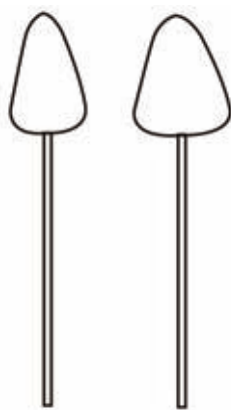
(図 q)

⑦つぼみバラ

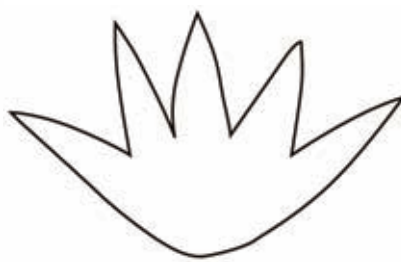
- (1)花弁の布が少しほつれるように手もみをする。花弁の表側から三分丸ごてで、中心から左右にこてを当てる (図 r)。
- (2)28 番ワイヤを半分に折り曲げ、その間に綿を挟みイチゴに似たような形をつくる。少し細長いものと、下が膨らんだものと2つ作る (図 s)。
- (3)4枚一組でずらしはしない。ボンドで留めておく。
- (4)花弁にボンドをつけ、2組で綿を包む。一組目はたくさんボンドをつける。2組めの先を尖らせる。2組の花弁の下を揃えて包む。
- (5)残りの花弁はバランスよく囲む。
- (6)ガクは手びねりする (図 t)。根元にボンドをつけ先端にはボンドをつけない。花弁の根元を隠すようにガクをつける。
- (7)ガクの付け根から茎巻きをする。



(图 r)



(图 s)



(图 t)

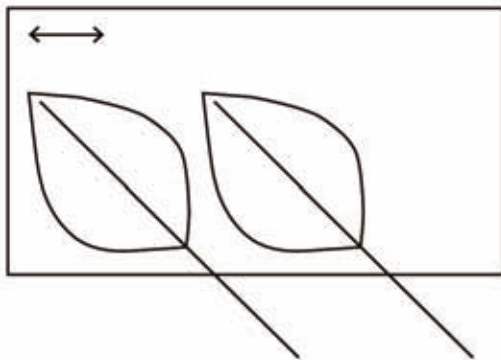
●部分説明

①ピンの付け方

- (1)パーツが多い場合は大きなものから組むと良い。形が決まったら、1cm幅にした茎布を、根元に近いところでボンドを入れながら巻き留める。
- (2)コサージュピンをのせて巻き留める。

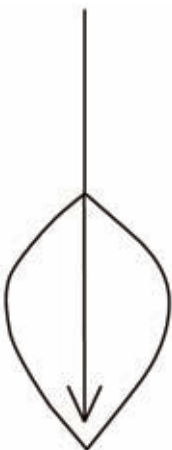
②葉・枝の作り方

- (1)表出しにしたい布の裏面にワイヤをボンドで貼る。
- (2)ワイヤが固定したら、全面にボンドをつけ裏打ちをする。同じ形の布を裁断している場合は、表裏を確認して貼り合わせる。布地に貼り合わせる場合は裏布がバイアスになるように貼り合わせる（図1）。
- (3)表に合わせて形を整える。

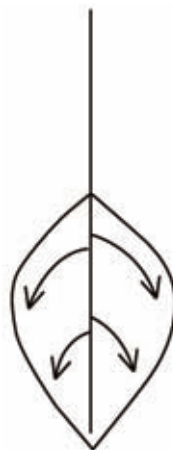


(図1)

- (4)葉を図のように置き、こて当てをする。こて先は細一筋ごて、一筋ごてを使用することが多い。表側からワイヤに合わせて一本こて当てをする（図2）。
- (5)同じ側から葉脈の筋をつける（図3）。裏側は表側の葉脈の筋が当たっていない部分に筋をつける。
- (6)表側にして、葉先と根元にこてを押すように当てる。



(図2)



(図3)

(7)葉の根元にワイヤを添えて枝にする。1cm幅に切った茎布を巻き下してバランスをみながら葉を足し、2枚葉、3枚葉にする。ワイヤを1cmくらい重ねて添える(図4)。ワイヤが長い場合は途中で切っても良いが、折り曲げて輪になった部分を切っても良い(図5)。



(図4)



(図5)

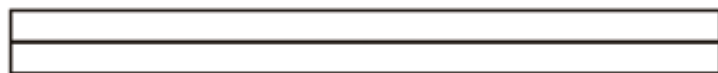
③リボン

(1)リボンに動きをつけるためにワイヤを入れる。リボンの幅が広い場合は、上下にワイヤを入れる。リボンの長さがワイヤより長いようであればワイヤを途中で重ねてワイヤを足す。ワイヤはリボンの端にボンドで貼る(図6)。リボンの幅が細い場合は、リボンの中心にワイヤを貼る(図7)。

※ワイヤを貼るボンドは固めのものを使用すると良い。



(図6)



(図7)

●コサージュと体型カバー

体型カバーをする技術として、錯視効果を利用する方法がある。錯視とはものが実際とは違って見えることをいう。気になる体型を服装やコサージュの効果で縦長にすっきりみせたり、小顔にみせることができる。

コサージュをつけたことで良い効果がなければその意味はない。コサージュをつけない方が良いということもある。より素敵に魅せることを目的としたコサージュの効果を紹介する。

①線による錯視

- 垂直線、水平線、斜線による効果



A



B



C



D



E

- BとCは中心に視線が誘導される。Bはコサージュが顔に近づくと顔の大きさと、コサージュの大きさが対比されることにより顔が大きく見えてしまう。Cは顔から垂直に離れ過ぎることにより、顔よりもコサージュの印象が強くなる。コサージュが大きいほど小顔効果が得られる。コサージュの大きさと上下の位置関係が大切である。
- コサージュは利き手でつけるため、左側につけることが一般的である。肩幅によりつけ位置を変える必要がある。Dは外側につけ過ぎてしまったため、水平に外方向に視線が誘導され

肩幅がより広く見える。Eと比較すると違いがよくわかる。

- ・DとEは中心から外れているので、視線が斜めに誘導される効果がある。この効果により背を高く見せる効果がある。縦に長くみせることにより全身がすっきりとみえる。

②色の濃淡による錯視



A



F



G

- ・洋服とコサージュの明度により、見え方が異なる。洋服よりもコサージュの明度が高くなると、アクセントカラーの効果となりコサージュが非常に目立ち顔の印象は薄くなる。面接やパーティーなどで相手に印象づけたい場合は避けるべきであるが、小顔効果や、華やかな印象を与える。色の彩度によっても同じような効果を得ることができる。

●コサージュのつけ位置

コサージュのつけ位置により見え方の印象は異なる。ただつければ良いというものではない。コサージュはフラワーホールの位置につけることが多い。フラワーホールとは、ラペルに開けてあるボタン穴のことをいう。ラペルとは衿のことをいう。テーラードジャケットにコサージュをつけ、つけ位置による印象効果をみる。



H



J



K



L



M

- Jはコサージュをラペルの低い位置につけた結果、視線は下に誘導される。一般的にこの位置につけることはないと思うが、小柄に魅せたい場合は低い位置にアクセントとなるコサージュやモチーフ飾り等をデザインすると良い。
- Kはコサージュがバストライン上に乗るような位置についている。バストの位置を強調するようになるので、バストがふくよかな方は避けるべき位置である。間の抜けたような印象を与える。
- Lはコサージュをフラワーホールの位置につけている。この位置につけるとバランスが良い。ジャケットのデザイン、ラペルの幅により位置は異なるので注意をする。
- Mはコサージュを高い位置につけている。顔回りに明るい色のコサージュがあることで、華やかな印象を与える。この場合、顔の大きさ、形に気をつけなければならない。

モデルは丸顔で顔の大きさは標準。丸顔の可愛らしい印象を更に愛らしくみせるようにコサージュは丸いものを、大きさはあまり大きすぎないものを選ぶと効果的であるといえる。

コサージュのつけ位置とボリュームについて



N



O



P



Q



R



S

- Oはコサージュを体の中心につけている。この位置にコサージュやアクセサリーがあることで、相手に誠実さや安心感を与える。ネクタイや、制服のリボンが中心にあることは効果的であるといえる。中心から外れていたり、緩んでしまっているとだらしない印象を与えるので注意が必要である。
- PとRはコサージュをラペルの低い位置につけている。Pはコサージュをラペルの外側につけることでVゾーンの開きを大きくみせ、すっきりとした印象を与える。Rはラペルの下にボリュームをつけているのでかなり重たい印象を与える。
- QとSはコサージュをラペルの高い位置につけている。Qは斜めの導線を体の中心に誘導させている。Sは体の外側に向かって斜めに導線を誘導させるようにコサージュをつけている。QよりもSのつけかたの方が、外側に向かい斜めに導線が上がることで背を高く魅せ、すっきりとした印象を与える。

コーディネートとは、二つ以上のアイテムをバランス良く組み合わせることをいう。装うということは、周囲の人を安心させたり、好感を持ってもらうために必要なことで、自分が楽しむ以上に気を遣うべきことであると思う。いつも相手を意識して装うことがコーディネートする上で大切なことだといえる。

●ブライダルシーンのアートフラワー

ウェディングで用いる花は清楚な色と上品なものが好まれる。正式には白い花というのが原則であるが、華やかさや新婦の好みによっては淡い色を使うこともある。お色直し用の花はドレスの色に応じて選ぶことができるが、極端に派手で奇抜な色は避けるべきである。ブーケがあまり大きすぎると全体のバランスが重苦しく感じてしまうので、ドレスやヘッドドレスとのバランスを考える必要がある。

①ウェディングブーケの種類

a キャスケードブーケ

キャスケード型とは中心から流れ出る滝のように周囲に広がる華やかな感じのブーケのことをいう。

b ラウンドブーケ

丸くまとめた可愛いブーケのことをいう。

c ファンブーケ

扇型のブーケのことをいう。

a



b



c



©AFP/PHOT NICOLAS LAMBERT

©AFP/PHOT DAMIEN MEYER

©AFP/PHOT PAULINA WESTERLIND

※リボンは、ブーケを持つ左手が隠れるように、ハンドルの左上につける。

②ウェディングブーケの選び方

- ・正礼装・・・白い花が最適である。花の種類は、カラー、蘭、チューリップ、バラが相応しい。
デザインは、キャスケードブーケ、プレイヤーブックブーケ、ファンブーケ。
- ・準礼装・・・花の種類、色、デザインは自由である。
- ・略礼装・・・花の種類、色、デザインは自由に選ぶことができる。白だけではなくカラフルにまとめてアレンジを楽しむ。

③ブートニア

花嫁のブーケの中の一輪を花婿の上衣の襟にさす。

●研修を終えて

花飾りをつくり、コーディネートにいかすことを目的に、研修に取り組んできた。レポートでは特にコーディネートを重点的にまとめた。花飾りをモデルにつけ撮影をし、つけ位置を確認していく作業は自分でも納得しながら進める事ができた。撮影ではモデルの服装や表情など、考えていた以上に撮影後に気づくことが多かった。今後も撮影をして作品を撮りためていこうと考えているので、この作品撮りが良い参考となる。

アトリエ染花に通い、もの作りを学ぶ楽しみを再度実感することができた。アトリエ染花の世界感に触れることでとても刺激を受けた。

その過程において、私には色彩の知識が足りないと感じ、今後は色について学んでいきたいと思う。色彩効果、色彩の影響がわかるような作品作り、作品撮りを今後の目標とする。

受講中は度々、授業時間が足りなくなり言葉だけでの説明が多くなったり、見えにくい説明があったりと私にも身に覚えのある授業の状況があった。今回学生の立場になったことで改めて、わかり易い師範を考えるようにもなった。学生目線で授業の進行を考えていくことにも気づく機会となった。

中級クラスの花作りは、素材選びが自由になった事で、初級クラスの作品よりも自分らしい作品作りができるようになった。大きな作品が増え、こて当ての技術が要求されることが多くあった。引き続き2月からは上級クラスで学び、さらに高度な技術を身につけたいと考えている。

今回研修に参加させて頂いたことで、多くの気づきがあり教育者として、ファッションに携わる者として自分を見つめ直す時間となった。自己啓発はこれからも積極的に行っていきたい。このような機会を頂きましてありがとうございました。

●参考文献

「文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック・アクセサリー編Ⅰ 文化服装学院編」文化出版局

「ファッション辞典」文化出版局

「コサージュの本ふだんの花からエレガントな花まで40スタイル」文化出版局

「新明解国語辞典第四版」三省堂

「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマルウェア協会

「手染めの花」日本ヴォーグ社

医療用カラーフィルターレンズ装用効果の客観的評価

石井 雅子

新潟大学眼科 新潟医療技術専門学校

I はじめに

医療用カラーフィルターレンズ (Absorptive lenses: 以下、遮光眼鏡) は羞明感の要因となる 500nm 以下の短波長光を選択的に遮断し、可視光線をできるだけ多く通すよう作られている。短波長光のカットによって光の散乱のグレアを抑え、羞明感の軽減だけでなくコントラストを向上させる¹⁾。眼疾患を有する低視覚者では高頻度に羞明を訴え、そのコントラスト感度は低下する²⁾。多くの眼疾患に遮光眼鏡は有用であり、QOV（見え方の質）を改善させる効果がある³⁻⁴⁾。

遮光眼鏡装用による羞明感の改善とコントラストの向上効果を客観的に評価し、その有用性を理解することを目的として、正常視覚者を対象として散瞳下で遮光眼鏡を選定し装用前後のおよびコントラスト視力を測定し、その装用効果を検討した。

II 対象と方法

対象は臨床現場で働く視能訓練士および医学系の学生 28 名 (19～26 歳、平均 20.0 ± 1.6 歳)、56 眼である。矯正視力は 1.2 以上、屈折等価球面值は $-3.1 \pm 2.1D$ 、 $\pm 6.0D$ 以上の屈折異常を除外した。

ミドリリン P[®] 点眼液にて両眼を散瞳し、瞳孔径が 7mm 以上で対光反応消失を確認後、コントラスト感度視力検査装置 CAT-CP (ナイツ社、東京) を用いてコントラスト視力を測定した。視標平均輝度は昼間視 100cd/m² で白色 LED 光源を用いたグレア負荷照度は 200lux である。ランドルト環視標を用いており、 $1.3 \log MAR \sim -0.1 \log MAR$ (小数視力 0.05～1.26) の 15 段階の対数配列になっている。昼間視、昼間視グレア負荷の順にそれぞれ 3 段階 (100%、10%、5%) で左右眼のコントラスト視力を測定した。測定条件はマニュアルモードとし、コントラスト視力値の判定は通常のランドルト環視力検査と同様に視標 3/5 以上正解をその視力値とした。

次に晴天時の屋外において、東海光学 STG 板レンズ 19 色およびオリジナルグレーレンズ (視感透過率約 30%) の 20 色を用いて、自覚的に最も見え方が改善するレンズを選定した。20 色のレンズの分光透過率曲線を図 1 に色名および視感透過率を図 2 に示す。色の好みを評価に反映させないように留意し、視感透過率が高いレンズから順に試験装用した。視標として被検者の 2m 先に白地に黒文字の文章を呈示した (図

3)。遮光眼鏡の選定は同一検者が行い、6月中の快晴日、時間は11時～14時の間とし、雲量は0～1、全天日射量は $13.0\text{MJ}/\text{m}^2$ 以上であることを気象庁のホームページ(<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>)で確認した。選定されたレンズを装用し再度、コントラスト視力を測定した。

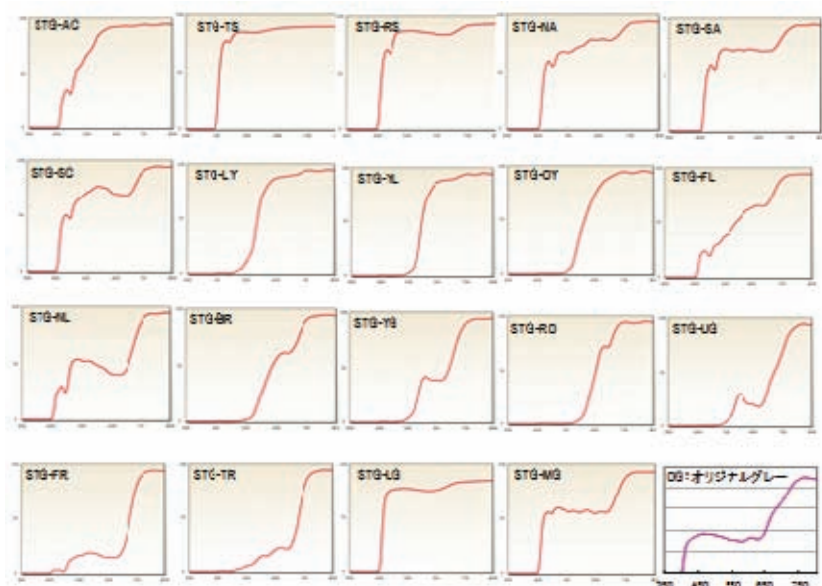


図1 20色の分光透過率曲線
東海光学(株)の許可を得て掲載
OG is not for sale

Color name		Luminous transmittance (LT)
AC		89
TS		85
RS		84
NA		78
SA		75
SC		75
LG		73
LY		71
YL		66
FL		59
OY		53
MG		53
NL		50
BR		40
YG		38
OG		30
RO		28
UG		25
FR		20
TR		19

図2 20色の色名と視感度透過率



図3 選定に用いた視標
医療用カラーフィルターレンズ
(遮光眼鏡)の対象者についての文章

遮光眼鏡装用前後のコントラスト視力を比較し、選定されたレンズについて色系統、視感透過率、波長特性から検討した。

統計学的検討には、対応のあるt検定およびカイ2乗検定を用いて、有意水準は5%以下とした。

本研究は被検者にその目的を説明し、同意を得た上で行われた。

Ⅲ 結果

27 名全員が遮光眼鏡装用により自覚的な見え方が改善した。

1. 見え方が改善したレンズ

TR が 8 例 (29.6%)、オリジナルグレーが 7 例 (25.9%)、FR が 5 例 (18.5%) の順に多かった (表 1)。

レンズの性能による比較では色系統は緑系と茶系が各 10 例 (37.0%)、グレー系が 7 例 (25.9%)、黄赤系は選択されなかった。波長特性は 400nm 以下全カットが 23 例 (85.2%)、500nm 以下全カットが 4 例 (14.8%) であった。視感透過率は 30% 未満が 14 例 (51.9%)、30% 以上 50% 未満が 10 例 (37.0%)、50% 以上が 3 例 (11.1%) であった (図 4)。

表 1 見え方が改善したレンズ n=27

レンズ名称	色系統	波長特性 (全カットする波長)	視感透過率 (%)	人数
AC	黄赤系	400nm以下	89	
TS	茶系	400nm以下	85	
RS	緑系	400nm以下	84	
NA	茶系	400nm以下	78	
SA	緑系	400nm以下	75	
SC	緑系	400nm以下	75	
LG	グレー系	400nm以下	73	
LY	黄赤系	500nm以下	71	
YL	黄赤系	500nm以下	66	
FL	茶系	400nm以下	59	1
OY	黄赤系	500nm以下	53	
MG	グレー系	400nm以下	53	
NL	緑系	400nm以下	50	2
BR	茶系	500nm以下	40	1
YG	緑系	500nm以下	38	2
OG(オリジナルグレー)	グレー系	400nm以下	30	7
RO	黄赤系	500nm以下	28	
UG	緑系	500nm以下	25	1
FR	緑系	500nm以下	20	5
TR	茶系	400nm以下	19	8

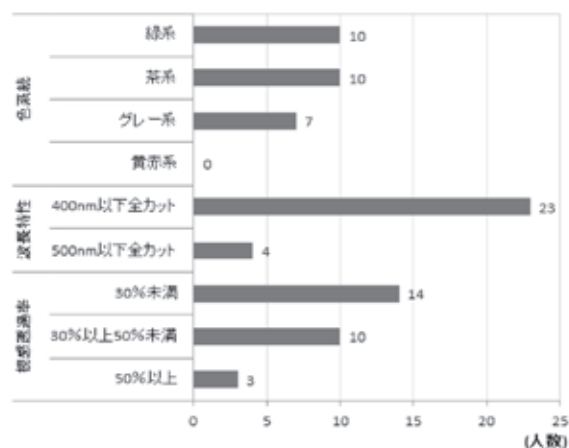


図 4 レンズの性能による比較 n=27

2. 遮光眼鏡装用前後のコントラスト視力の変化

昼間視では、コントラスト 100% で装用後のコントラスト視力の平均値が低下した。コントラスト 10% および 5% で装用後のコントラスト視力の平均値が向上した (図 5a)。昼間視グレア負荷では、コントラスト 100%、10% および 5% の全てのコントラストで装用後のコントラスト視力の平均値が向上した。コントラスト 5% では有意にコントラスト視力の平均値が向上した (図 5b)。

昼間視では、コントラスト 10% で 28 眼 (51.9%)、コントラスト 5% で 23 眼 (42.6%)、コントラスト 100% で 17 眼 (31.5%) の順でコントラスト視力が向上する割合が多かった (図 6a)。昼間視グレア負荷では、コントラスト 10% で 26 眼 (48.1%)、コントラスト 5% で 16 眼 (29.6%)、コントラスト 100% で 19 眼 (35.2%) の順でコントラスト視力が向上する割合が多かった (図 6b)。

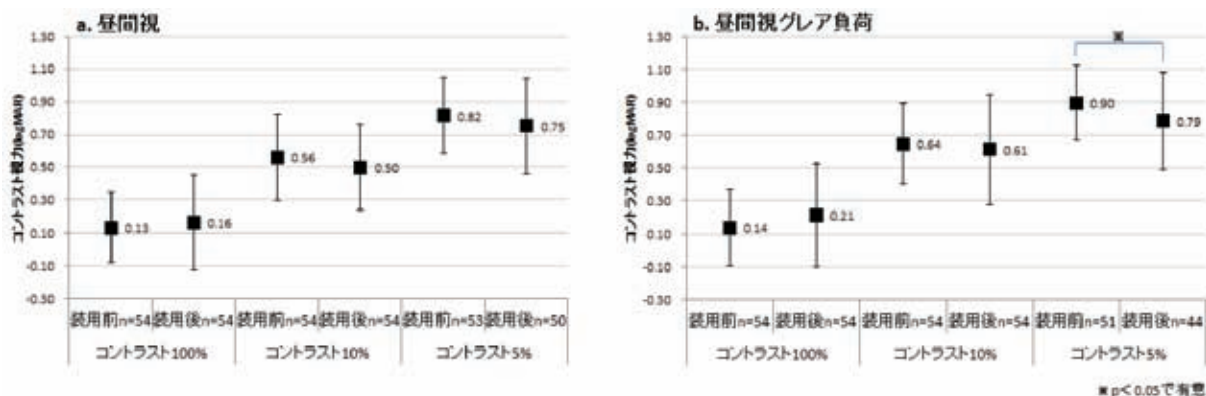


図5 コントラスト視力(平均±標準偏差)

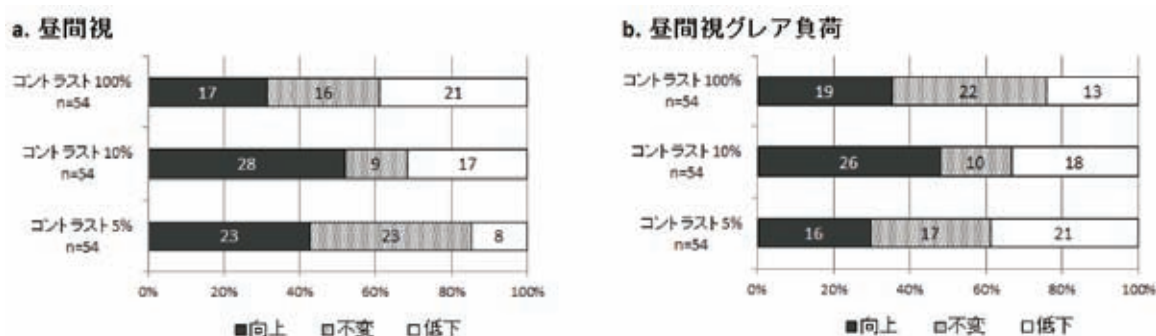


図6 遮光眼鏡装用によるコントラスト視力の変化

3. レンズの性能別でのコントラスト視力の変化

昼間視では、コントラスト100%でコントラスト視力が最も向上した割合が多かったのは、色系統ではグレー系が6眼(42.86%)、波長特性では400nm以下全カットが15眼(32.61%)、視感透過率では50%以上が3眼(50.00%)であった。コントラスト10%でコントラスト視力が最も向上した割合が多かったのは、色系統では茶系および緑系が各11眼(55.00%)、波長特性では500nm以下全カットが6眼(75.00%)、視感透過率は30%以上50%未満が12眼(60.00%)であった。コントラスト5%でコントラスト視力が最も向上した割合が多かったのは、色系統では緑系が10眼(50.00%)、波長特性では500nm以下全カットが5眼(62.50%)、視感透過率では50%以上が3眼(50.00%)および30%以上50%未満が10眼(50.00%)であった。色系統、波長特性、視感透過率の違いによるコントラスト視力の変化に有意差はなかった(表2)。

昼間視グレア負荷では、コントラスト100%でコントラスト視力が最も向上した割合が多かったのは、色系統ではグレー系が8眼(57.14%)、波長特性は400nm以下全カットが17眼(36.96%)、視感透過率は50%以上が10眼(50.00%)であった。コントラスト10%でコントラスト視力が最も向上した割合が多かったのは、色系統では茶

系が 11 眼 (55.00%)、波長特性は 500nm 以下全カットが 4 眼 (50.00%)、視感透過率は 30%以上 50%未満が 11 眼 (55.00%)であった。コントラスト 5%でコントラスト視力が最も向上した割合が多かったのは、色系統では緑系が 8 眼 (40.00%)、波長特性は 400nm 以下全カットが 14 眼 (30.43%)、視感透過率は 30%未満が 11 眼 (39.29%)であった。コントラスト 100%で波長特性の違いによりコントラスト視力の変化に有意差がみられた(表 3)。

4. 内省アンケート

被検者 27 名全員から体験後のアンケートを回収した。

アンケートの内容は、散瞳を体験しての感想および不自由であったこと。遮光眼鏡の装用効果を実感できたかどうか。遮光眼鏡装用前後での見え方の違い。この 3 項目について記述式で回答を求めた。27 名全員が遮光眼鏡の装用効果を実感した。虹彩の働きがよくわかった。光量の調節機能がなくなると眼が痛い。羞明の言葉の意味がわかった。遮光眼鏡は見え方をくつきりさせることがわかった。まぶしさはさほど苦にならなかったが、遮光眼鏡はすつきりと楽に見えることがわかった。同じ視力でもまぶしくてやっとなみえる見え方と楽にみえる見え方があることがわかった。遮光眼鏡装用前は周りの景色や白いものを見ると眼が痛くなったが、装用後はそれが改善された。などの回答を得た。

表 2 昼間視 レンズの性能別でのコントラスト視力の変化

	100%				10%				5%			
	向上n=17	不変n=16	低下n=21	χ^2_{test}	向上n=28	不変n=9	低下n=17	χ^2_{test}	向上n=23	不変n=23	低下n=8	χ^2_{test}
グレー系	6(42.86%)	2(14.29%)	6(42.86%)	0.456	6(42.86%)	3(21.43%)	5(35.71%)	0.956	5(35.71%)	4(28.57%)	5(35.71%)	0.108
色系統 茶系	7(35.00%)	7(35.00%)	6(30.00%)		11(55.00%)	3(15.00%)	6(30.00%)		8(40.00%)	11(55.00%)	1(5.00%)	
緑系	4(20.00%)	7(35.00%)	9(45.00%)		11(55.00%)	3(15.00%)	6(30.00%)		10(50.00%)	8(40.00%)	2(10.00%)	
波長特性	500nm以下全カット	2(25.00%)	4(50.00%)	0.386	6(75.00%)	1(12.50%)	1(12.50%)	0.342	5(62.50%)	3(37.50%)	0(0.00%)	0.313
	400nm以下全カット	15(32.61%)	12(26.09%)		19(41.30%)	22(47.83%)	8(17.39%)		16(34.78%)	18(39.13%)	20(43.48%)	
50%以上	3(50.00%)	2(33.33%)	1(16.67%)	0.479	3(50.00%)	2(33.33%)	1(16.67%)	0.596	3(50.00%)	2(33.33%)	1(16.67%)	0.189
視感透過率 30%以上50%未満	8(40.00%)	5(25.00%)	7(35.00%)		12(60.00%)	3(15.00%)	5(25.00%)		10(50.00%)	5(25.00%)	5(25.00%)	
30%未満	3(21.43%)	9(32.14%)	13(46.43%)		13(46.43%)	4(14.29%)	11(39.29%)		10(35.71%)	16(57.14%)	2(7.14%)	

表3 昼間視グレア負荷 レンズの性能別でのコントラスト視力の変化

	100%				10%				5%			
	向上n=19	不変n=22	低下n=13	χ^2_{test}	向上n=26	不変n=10	低下n=18	χ^2_{test}	向上n=16	不変n=17	低下n=21	χ^2_{test}
グレー系	8(57.14%)	1(7.14%)	5(35.71%)	0.199	7(50.00%)	3(21.43%)	4(28.57%)	0.730	1(7.14%)	6(42.86%)	7(50.00%)	0.312
色系統 茶系	5(25.00%)	5(25.00%)	10(50.00%)		11(55.00%)	4(20.00%)	5(25.00%)		7(35.00%)	6(30.00%)	7(35.00%)	
緑系	6(30.00%)	7(35.00%)	7(35.00%)		8(40.00%)	3(15.00%)	9(45.00%)		8(40.00%)	5(25.00%)	7(35.00%)	
波長特性	500nm以下全カット	2(25.00%)	5(62.50%)	1(12.50%)	4(50.00%)	1(12.50%)	3(37.50%)	0.887	2(25.00%)	3(37.50%)	3(37.50%)	0.914
	400nm以下全カット	17(36.96%)	8(17.39%)	21(45.65%)	22(47.83%)	9(19.57%)	15(32.61%)		14(30.43%)	14(30.43%)	18(39.13%)	
50%以上	2(36.96%)	2(33.33%)	2(33.33%)	0.452	1(16.67%)	1(16.67%)	4(66.67%)	0.417	2(33.33%)	0(0.00%)	4(66.67%)	0.144
視感透過率 30%以上50%未満	10(50.00%)	4(20.00%)	6(30.00%)		11(55.00%)	4(20.00%)	5(25.00%)		3(15.00%)	8(40.00%)	9(45.00%)	
30%未満	7(25.00%)	7(25.00%)	14(50.00%)		14(50.00%)	5(17.86%)	9(32.14%)		11(39.29%)	9(32.14%)	8(28.57%)	

*p<0.05で有意

IV 考按

医療用カラーフィルターレンズは 1970 年代後半に欧米から日本に紹介されて以来、HOYA 社の RETINEX[®]、RETINEX SOFT[®]および東海光学社の CCG シリーズ[®]、CCP シリーズ[®]、CCP400 シリーズ[®]を主流としてカラーバリエーションに富んだレンズが多く、多くのメーカーから販売されるようになった。これらのレンズは羞明を生じる多くの眼疾患をもつ患者のニーズ対応されている⁵⁾。2010 年 3 月 31 日に厚生労働省から出された「補装具費支給事務取扱指針の一部改正について」において身体障害者(視覚障害)の補装具として適用される際の支給対象者の要件などが見直された。医療用カラーフィルターレンズは支給対象疾患の限定がなくなり、羞明感に悩んでいるすべての身体障害者手帳所持者を対象とすることとなった⁶⁾。このような背景から医療用カラーフィルターレンズは今後、ますます処方頻度の高い補助具になると予想される。

視能訓練士は、医療用カラーフィルターレンズの選定および処方に関わることから、レンズの性能を理解するために羞明感のシミュレーションおよび選定練習は欠かせない。更に視機能の検査データを客観的に評価し検討することで、眼疾患による見え方の低下(ロービジョン)を理解することができる。

今回の結果から、低コントラスト視標にてコントラスト視力がより向上することは既報¹⁾と同様の結果であった。しかし、自覚的に視標がくっきりして見やすくなるレンズを選んでもコントラスト視力が向上しない場合もある。このことから医療用カラーフィルターレンズは羞明感を抑え、外界をくっきりさせる効果があるが、屈折矯正を目的とするレンズとは異なるものであることがわかった。臨床現場での選定および処方の際には遮光眼鏡のこれらの特性について説明し理解を求める必要がある。

V 結語

今回の「医療用カラーフィルターレンズ装用効果の客観的評価」の研究により被検者を体験することで、低視覚状態での羞明のもつ意味を理解し医療用カラーフィルターの効果を体得できた。近年、より高い医療水準が求められる時代へと移り変わってきている。医療の目的が疾患の治療のみではなく、疾患を有する患者の QOL(生活の質)の向上へと変化していることから、眼科医療では QOV(見え方の質)を追求することが望まれる。

謝辞:稿を終えるにあたりご指導いただきました福地健郎教授ならびに阿部春樹前教授に深謝申し上げます。

参考文献

- 1) 石井雅子、張替涼子、臼井知聡、福地健郎、阿部春樹:ロービジョン者の羞明と遮光眼鏡の効果—CAT2000 による検討—. 眼紀 56:971-976, 2005.
- 2) Arden GB: Testing contrast sensitivity in clinic 遮光眼鏡 practice. Clin Vision Sci 2: 213-224, 1998.
- 3) 築島謙二: 視機能に及ぼす他の因子. あたらしい眼科 9:1309-1316, 1992.
- 4) 石井雅子、張替涼子、阿部春樹:新潟大学におけるロービジョン者に対する遮光眼鏡処方状況. 日本ロービジョン学会誌 8:159-165, 2008.
- 5) 石井雅子: 遮光眼鏡処方の実際. 日本ロービジョン学会誌 11:17-22, 2011.
- 6) 公衆衛生部:補装具における遮光眼鏡の取り扱い指針改正のお知らせ. 日本の眼科 81:651-652, 2010.

研 究 紀 要 —平成24年度—

平成25年 3 月31日 発行

編集・発行 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
〒102—0073 東京都千代田区九段北 4 - 2 -25
私学会館別館11階

印刷 情報印刷株式会社
東京都千代田区飯田橋 4 - 2 - 2